

科目名	柔整総合Ⅲ					
分野	その他の分野	担当教員	田沼 順一			
開講時期	1学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30		2			
科目の概要	柔道整復師として、解剖学・生理学・病理学などの基礎医学を理解するために必要な知識を学ぶ。特に、骨折や脱臼の治療にとどまらず、疾患を予防するために望ましい日常生活のあり方について、予防医学的な視点から理解を深める。さらに、生活習慣の悪化が生体に及ぼす影響を健康科学的観点から考察し、人体に関するさまざまな疑問や仕組みを科学的に明らかにしていく。					
学習の到達目標	将来、柔道整復師として必要な基礎医学(解剖学・生理学・病理学)を修得するとともに、社会に貢献するために求められる健康増進への取り組みや医療人に対する社会的ニーズを理解し、患者に対して的確な情報をわかりやすく伝える能力を養う。					
成績評価の方法と基準	期末試験の結果をもって成績評価をする。					
使用テキスト	全国柔道整復学校協会監修教科書『解剖学・生理学』					
参考文献	適宜講義資料を配付する。					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	最新国家試験問題の傾向と解説□					
2	細胞とは(細胞の構造・細胞膜、膜輸送)□					
3	組織・器官と生体の機能系					
4	生体の恒常性と統合機能・体液の区分と組成					
5	骨格筋:構造、骨格筋の収縮と弛緩、骨格筋と張力の関係、筋電図					
6	血液:成分と組成、止血、血液型、免疫					
7	骨:骨構造、骨の成長					
8	循環器:心臓、血管、リンパ系					
9	呼吸器系:構造、換気、ガス交換と運搬					
10	泌尿器:腎臓の構造と機能、尿の生成、腎血流量					
11	消化器:構造と機能、消化と吸収					
12	体温調整:熱の産生・放散、温調節、発熱とうつ熱					
13	内分泌とホルモン:働き(視床下部・下垂体前葉・後葉・甲状腺・副甲状腺)					
14	脳・神経系:脳の構造・大脳皮質の局在・連合野					
15	総合評価(まとめ)					

(2026年度)